

## 2014年1月のガス料金は

調整単価

$$\boxed{\text{基本料金}} + \boxed{\text{ガス使用量}} \times \left( \boxed{\text{従量料金単価}} + \boxed{+102 \text{ 円/m}^3} \right)$$

標準料金

原料費調整にかかわる料金

になります。

なお、今月の調整単価は前月に対して

**+56 円/m<sup>3</sup>**

となります。

	①プロパンCP ドル/トン	②為替レート	③原料価格 (①×②) 円/トン
2014年1月	1,100	103.55	113,905

### 【1月分の調整額の出し方】

$$\begin{aligned} & \text{③原料価格 (円/トン)} - \text{④基準原料価格 (2009年10月～2012年3月の原料価格の平均値) (64,628円/トン)} \\ & \quad \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \boxed{\text{調整単価 (1m}^3\text{あたりの調整額) (円/m}^3\text{ 税抜)}} \end{aligned}$$

トンをkgに直します。

kgからm<sup>3</sup>に換算するための産気率

$$\begin{aligned} & \text{③原料価格 (113,905円/トン)} - \text{④基準原料価格 (64,628円/トン)} \\ & \quad \div 1,000\text{kg} \div 0.482 = \boxed{+102 \text{ 円/m}^3} \end{aligned}$$

(小数点以下切り捨て)

### 【ガス料金の計算式】

$$\boxed{\text{ガス料金ご請求額}} = \boxed{\text{基本料金}} + \boxed{\text{ガス使用量}} \times \left( \boxed{\text{従量料金単価}} + \boxed{\text{調整単価}} \right)$$

従来の標準料金

原料費調整にかかわる料金